



鶴小だより

学校教育目標 やさしく かしく たくましく

6月号

校長 秋元 江利子

令和5年度運動会スローガン

つるっ子みんなで心を一つに楽しい運動会にしよう

いよいよ今週末は運動会です。今年度のスローガンは「つるっ子みんなで心を一つに楽しい運動会にしよう」です。どのような運動会にしていきたいか3名の応援団長にたずねました。赤組応援団長は「小学校生活最後の運動会。一番印象に残り、一番盛り上がり、一番がんばったといえる運動会にしたい」、青組応援団長は「伝統を引き継いでもらえるよう下級生のお手本となり、最高に盛り上がる運動会にしたい」、黄組応援団長は「みんなの力を引き出し、みんなで楽しく盛り上がる運動会にしたい」と意気込みを語ってくれました。

今年度の運動会は様々な制限から解放された運動会です。全校児童で、元気な声を出して、たくさんの方の保護者の方や地域の方のご声援を受け大いに盛り上がっていきたくと思っています。どうぞあたたかなご声援をよろしくお願い申し上げます。

よい習慣を身につける ～大谷翔平物語～



月に1回、お話朝会があります。5月のお話朝会のテーマは「毎日の生活習慣を大切に」でした。メジャーリーガーの大谷翔平選手が高校時代に心がけていた生活習慣を取り上げてお話ししました。概要は以下の通りです。

大谷選手は小学生の頃からプロ野球選手になることが夢でした。高校生になった大谷選手は「プロ野球選手になるために自分には何が必要なのか」ということを考えるようになりました。

考えた結果8つのことを取り組むことにしました。①スピードを上げるための取組。②コントロールをよくするための取組。③球のキレをよくするための取組。④変化球の質をよくするための取組。⑤体づくりのための取組。⑥心を鍛えるための取組。⑦人間性を高めるための取組。⑧運を引き寄せるための取組です。

8つの取組の中で「⑧運を引き寄せるための取組」について紹介します。大谷選手は運を引き寄せるために「誰にでもあいさつをする、礼儀正しくする、ものを大切にする、本を読む、落ちているごみは拾う、部屋のそうじをする」ということを心がけていたそうです。大谷選手は高校時代に野球の技術を磨くことはもちろん努力しましたが、夢をかなえるために「毎日の生活習慣」をととても大事にしていました。自分にとってもまわりの人にとっても、よい環境を作ることに気を配っていたのです。よい習慣はよい運を引き寄せます。

学童期の子供たちに対して、私達大人ができることは、愛情をたっぷり注ぎ、知・徳・体のバランスを図りながら自立するための土台を作ってあげることではないかと思っています。よい生活習慣づくりは、その一つです。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様と子供たちの成長について共に考え共に行動していきたいと思っています。